

「ディスカバー農山漁村の宝」第 8 回選定  
選定地区及び選定者の概要（案）

令和 3 年 1 1 月

# 「ディスカバー農山漁村の宝」 (第8回選定) 選定地区及び選定者位置図 (案)

中国	【ブランド化・企業との連携】
No.27 岡山県 岡山市	植田 輝義
	【環境保全・荒廃農地対策】
No.28 岡山県 新見市	草間台エコミュージアム推進協議会
	【地産地消・地域づくり】
No.29 広島県 庄原市	株式会社数信村農吉
	【6次化・地産地消】
No.30 山口県 長門市	株式会社63Dnet

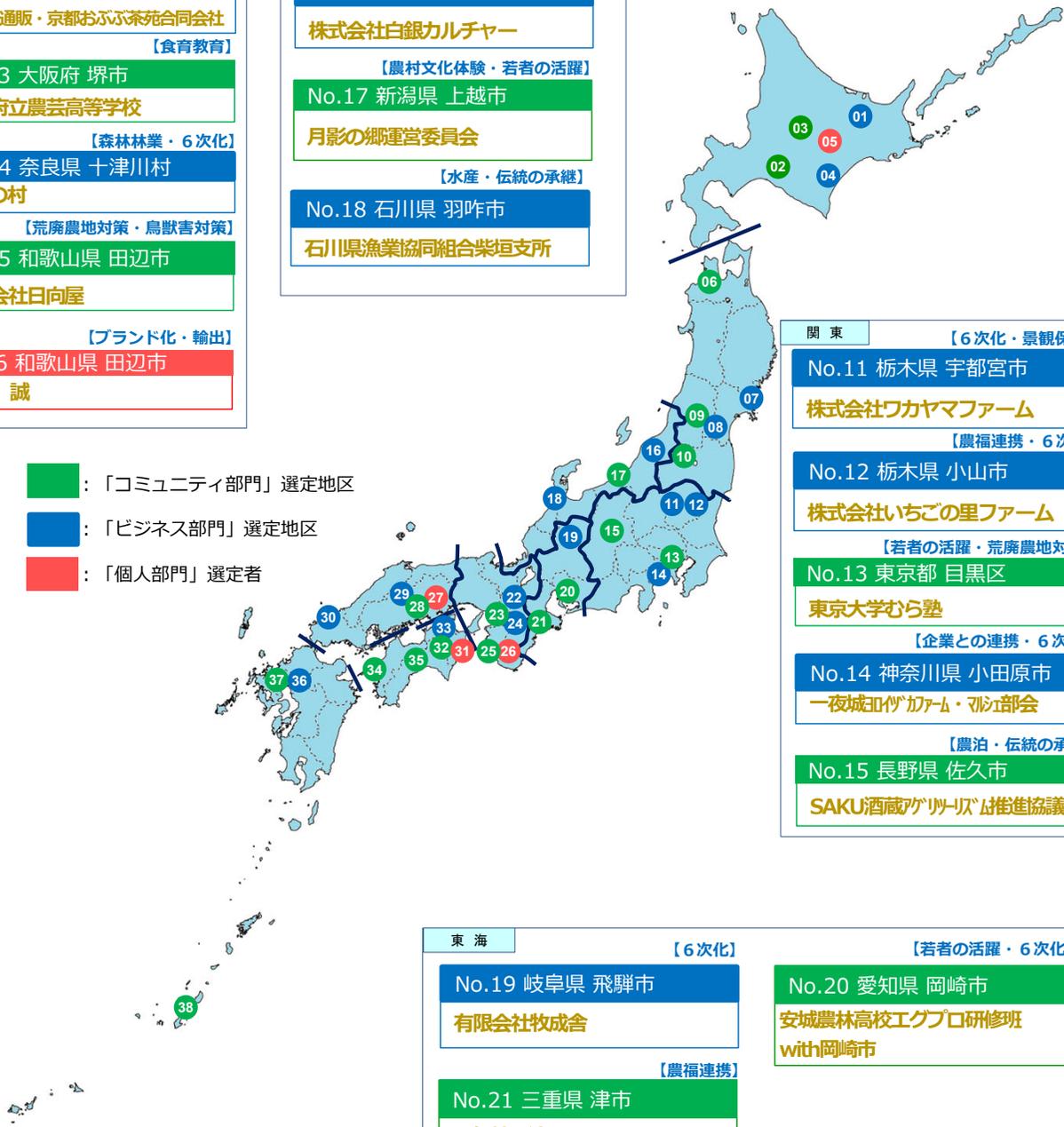
近畿	【6次化・輸出】
No.22 京都府 和束町	お茶の通販・京都おぶぶ茶苑合同会社
	【食育教育】
No.23 大阪府 堺市	大阪府立農芸高等学校
	【森林林業・6次化】
No.24 奈良県 十津川村	空中の村
	【荒廃農地対策・鳥獣害対策】
No.25 和歌山県 田辺市	株式会社日向屋
	【ブランド化・輸出】
No.26 和歌山県 田辺市	那須 誠

北陸	【スマート農業】
No.16 新潟県 新潟市	株式会社白銀カルチャー
	【農村文化体験・若者の活躍】
No.17 新潟県 上越市	月影の郷運営委員会
	【水産・伝統の承継】
No.18 石川県 羽咋市	石川県漁業協同組合柴垣支所

四国	【6次化・地産地消】
No.31 徳島県 阿南市	黒川 真太郎
	【森林林業・移住定住】
No.32 徳島県 神山町	神山しずくプロジェクト
	【伝統の承継・輸出】
No.33 香川県 高松市	「高松盆栽の郷」推進協議会
	【企業との連携・移住定住】
No.34 愛媛県 伊方町	愛媛県立三崎高等学校 「せんたんプロジェクト」
	【環境保全・鳥獣害対策】
No.35 高知県 本山町	吉延営農組合

九州・沖縄	【環境保全・地産地消】
No.36 福岡県 みやま市	みやま市環境衛生課 循環型社会推進係
	【若者の活躍・地産地消】
No.37 佐賀県 伊万里市	佐賀県立伊万里実業高等学校 フードプロジェクト
	【6次化・地産地消】
No.38 沖縄県 名護市	山原女性農業者の会

■ : 「コミュニティ部門」選定地区  
■ : 「ビジネス部門」選定地区  
■ : 「個人部門」選定者



関東	【6次化・景観保全】
No.11 栃木県 宇都宮市	株式会社ワカヤマファーム
	【農福連携・6次化】
No.12 栃木県 小山市	株式会社いちごの里ファーム
	【若者の活躍・荒廃農地対策】
No.13 東京都 目黒区	東京大学むら塾
	【企業との連携・6次化】
No.14 神奈川県 小田原市	一夜城30代ガム・丸江部会
	【農泊・伝統の承継】
No.15 長野県 佐久市	SAKU酒蔵「ガリ」が推進協議会

北海道	【環境保全・輸出】
No.01 北海道 北見市	環境大善株式会社
	【伝統の承継・企業との連携】
No.02 北海道 北広島市	北広島商工会「きたひろしま開拓プロジェクト委員会」
	【農村文化体験・食育教育】
No.03 北海道 当麻町	当麻土地改良区
	【6次化・シビエ】
No.04 北海道 豊頃町	株式会社ELEZO 社
	【6次化・企業との連携】
No.05 北海道 陸別町	日向 優

東北	【地域づくり】
No.06 青森県 中泊町	中泊町農産物加工販売施設 出荷者協議会
	【水産・企業との連携】
No.07 宮城県 気仙沼市	気仙沼水産資源活用研究会
	【農泊】
No.08 宮城県 蔵王町	蔵王農泊振興協議会
	【棚田保全】
No.09 山形県 山辺町	グループ農夫の会
	【食育教育】
No.10 福島県 喜多方市	福島県喜多方市教育委員会

東海	【6次化】	【若者の活躍・6次化】	
No.19 岐阜県 飛騨市	有限会社牧成舎	No.20 愛知県 岡崎市	安城農林高校エグプロ研修班 with岡崎市
	【農福連携】		
No.21 三重県 津市	一般社団法人 三重県障がい者就業促進協議会		

# 01

# 環境大善株式会社



— アップサイクル型循環システムで地球をキレイに！ —

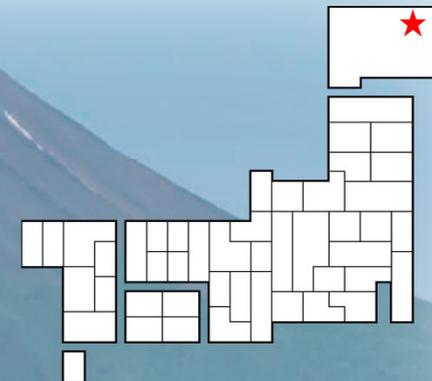


「善玉活性水」を使用したトマト（右）と不使用のトマト（左）

ビジネス部門

環境保全

輸出



所在地：北海道 北見市

## 概要

- 牛の尿を発酵・培養させた「善玉活性水」を用い消臭液、土壌改良材等の商品開発と製造販売を実施。
- 土壌改良材等は近隣アジア7ヶ国に輸出されており、輸出先での土壌改良や水質保全にも貢献。

## 成果

- 消臭剤や土壌改良材等の売上は、約1億8,800万円（平成28年度）から約2億6,000万円（令和2年度）に増加。
- 海外輸出量は、36トン（平成28年度）から80トン（令和2年度）に増加。



消臭剤の一般販売店での陳列の様子



北見工大との共同研究講座締結時の会見写真



きたひろしましょうこうかい

# 02 北広島商工会「きたひろしま開拓プロジェクト委員会」

— 北海道米の礎を築いた歴史で地域力アップ! —

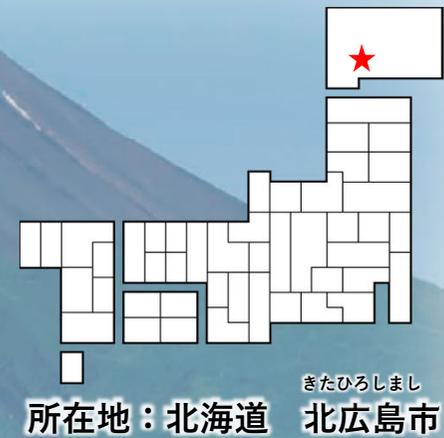


赤毛米の収穫、手作業による自然乾化作業

コミュニティ部門

伝統の承継

企業との連携



赤毛米の日本酒「久蔵翁」

## 概要

- 地元商工会や農業者等が連携し、赤毛米の復活栽培、加工品の企画・開発等により、市民の誇りの醸成と地域活性化に貢献。
- 赤毛米や赤毛米酒粕を使用した加工品の販売のほか、キャラクター「まいピー」によるPR活動等も実施。

## 成果

- 栽培に手間がかかる赤毛米の栽培面積について、令和元年度にはこれまでの30aから60aに増加。
- 赤毛米を使用した商品数について、10品目（平成28年度）から、22品目（令和2年度）に増加。



キャラクター「まいピー」のグッズ商品類

# 03

とうまとちかいりょうく

## 当麻土地改良区

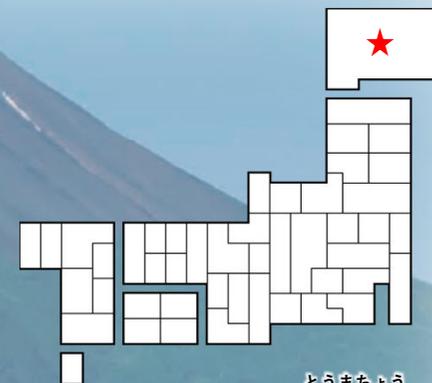
— 「食と農の大切さ」 —



コミュニティ部門

農村文化体験

食育・教育



とうまちょう  
所在地：北海道 当麻町



稲の生育観察と田んぼに棲む生き物観察

### 概要

- 小学4年生の社会科「水はどこから」の授業と関連して施設見学会のほか出前教室を開催し、米づくりや農業について学習。
- 当麻町教育委員会から無償でスクールバスの提供を受け、ソーシャルディスタンスを確保しつつ土地改良施設見学会を開催。

### 成果

- 毎年町内の小学生100名程度を対象に田んぼの教室、土地改良施設見学会を継続。
- 田んぼを総合学習の場とした「田んぼの教室」は18年目を迎え、行政やJA等と連携し、子どもたちの学習の場を提供。



大雪頭首工施設見学会



農業・農村の持つ多面的機能の学習

# 04

エレゾ

# 株式会社ELEZO社



— 料理人起点で食肉の未来を照射する食文化の確立 —

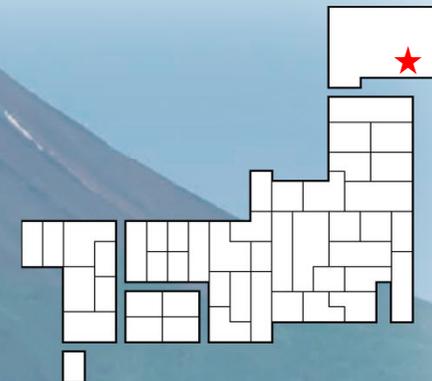


狩猟による生産食肉加工製品：テーリーヌ

ビジネス部門

6次産業化

ジビエ



所在地：北海道 豊頃町 とよころちょう



オーストラリア クイーンズランド州でのイベント風景

## 概要

- 食肉における自社一貫フードチェーンと5業種のプロ集団構築を行い、食にまつわる課題解決に貢献。
- 企業として国内で初めてハンターを雇用し、農業被害の減少に貢献しつつ、食に特化した狩猟法を確立。

## 成果

- エゾシカの搬入実績は、500頭（平成28年度）から1,000頭（令和元年度）に増加。自社レストラン等の顧客数も4,200人（平成28年度）から17,300人（令和3年度見込み）に増加。
- 令和2年には、豪州から招待を受け、カンガルーを対象に自社モデルを体現する料理イベントを開催。



令和元年度 農林水産省料理人顕彰制度 料理マスターズ受賞式

# 05

## ひなた ゆう 日向 優



— 薬剤師が挑む「薬用植物で町おこし」 —

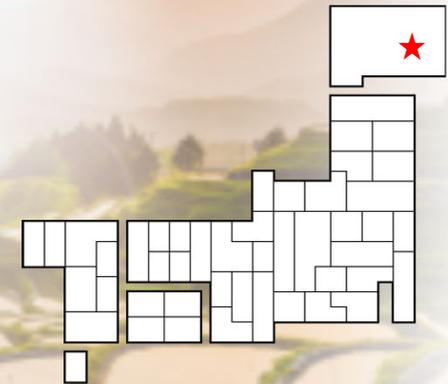


日向氏と畑の様子（植物はキバナオウギ）

個人部門

6次産業化

企業との連携



所在地：北海道 陸別町  
りくべつちょう

### 概要

- 薬用植物を自ら栽培し、専門的知識を活かした機能性商品の開発や地域活動を実施。
- 地域おこし協力隊として着任後、薬剤師資格や製薬会社での研究経験を活かし、企業や大学と連携しながら町の経済活性化に貢献。

### 成果

- 町の栄養教諭と協力し学校に薬膳給食を提供したほか、北見市のレストランに薬膳メニュー「やくぜんうどん」を提供。
- 町内では畑作がほとんど行われていない中で、ゼロから新産業を創出できたことにより、メディアにも多数取り上げられ視察者も増加。



帯広の健康カフェにて講演会の講師を務めた



北見市レストランの「やくぜんうどん」

## 中泊町農産物加工販売施設出荷者協議会

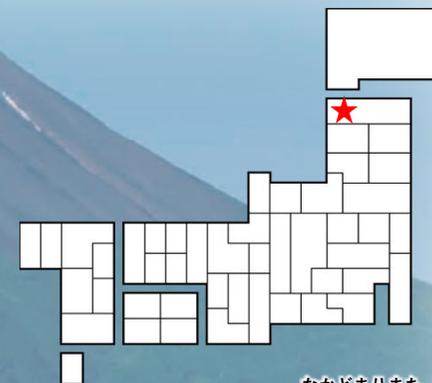
— 地域共生社会の核となる産直を目指して！ —



コミュニティ部門

地域づくり

高齢者の活躍



所在地：青森県 中泊町

保冷車を活用した移動販売

## 概要

- 農産物の集荷・宅配・移動販売を実現し、高齢出荷者及び車を保有していない買物弱者への支援を実施。
- 商工業者等と協力して「ピュア朝市」の開催のほか、地元高校生のプロジェクトと連携した商品開発等を展開。

会員からの集荷状況

## 成果

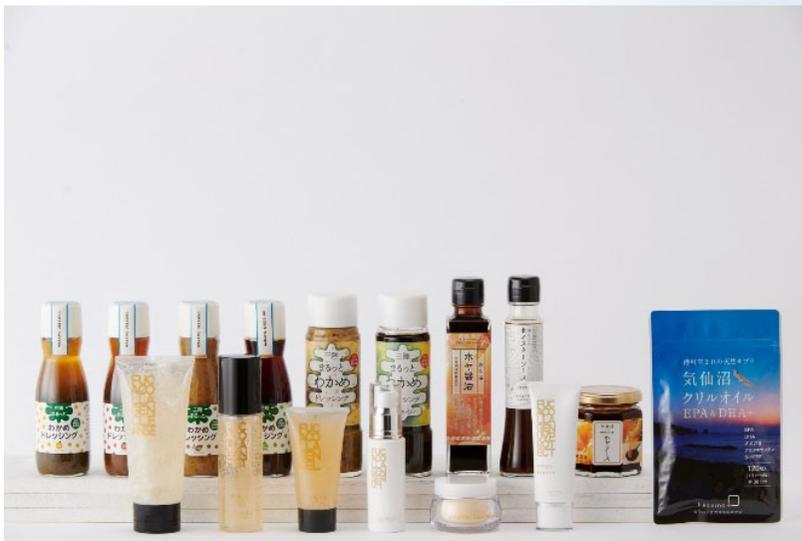
- 移動販売の売上は、約3万円（平成30年度）から約600万円（令和2年度）に増加しており、高齢者等の買い物支援に貢献。
- 「ピュア朝市」では農産物出品のほか、ヨガや健康食の情報提供など健康づくりを学習・実践できる機会も創出。

「ピュア朝市」の様子

# 07

# 気仙沼水産資源活用研究会

— 気仙沼から、もっと。 —

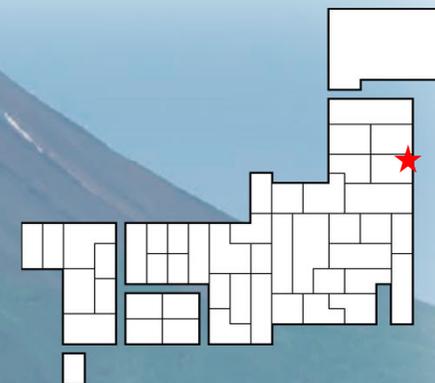


気仙沼水産資源活用研究会の開発商品

ビジネス部門

水産

企業との連携



所在地：宮城県 気仙沼市



平成27年度に（株）KESEMO MARINUSが誕生

## 概要

- 30社超の地元企業と気仙沼市が連携し、平成25年11月に発足。地域資源を活用した商品開発、共通ロゴ等による販路拡大。
- 平成27年度には、（株）KESEMO MARINUSケセモマリナスを設立し、化粧品等の水産加工製品ブランドを展開。

## 成果

- 開発商品の売上は約1,300万円（令和元年度）から約2,300万円（令和3年度目標）に増加見込み。
- フカコラーゲンを使った洗顔料や化粧品、ホヤを使った醤油やソース等の特徴的な新商品の開発、情報発信を実施。



ワーキンググループでのディスカッション

## 蔵王農泊振興協議会

— 持続可能な地域づくり戦略SDZ(ao)s —



空き家を改修した宿泊施設



ワーケーション風景



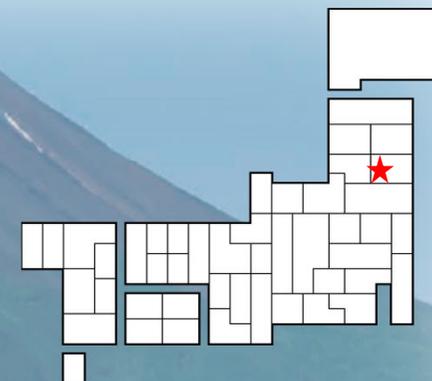
体験コンテンツ（陶芸体験）

ビジネス部門

農泊

荒廃農地対策

移住・定住

ざおうまち  
所在地：宮城県 蔵王町

## 概要

- 「空き家」、「荒廃農地」等の「負債」を有効に利用することで、「宿泊施設」、「観光農園」等の「資源」に転化。
- 陶芸体験等の新たな体験コンテンツの導入、地域の食材を使った新メニュー開発ワークショップの実施など、観光資源を充実。

## 成果

- 農泊関連売上は、500万円（平成30年度）から1億5,000万円（令和2年度）に増加。
- コロナ以降はワーケーション、マイクロツーリズム等の新たなターゲットに切り替え、コロナ前よりも観光客が増加。

# グループ農夫の会

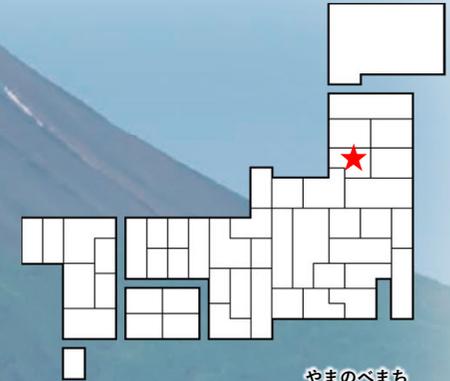
— 棚田のてっぺんまでの再生を。 —



田植え風景

コミュニティ部門

棚田保全



やまのべまち

所在地：山形県 山辺町



大蔵棚田米、モンテ棚田米、山響棚田米

## 概要

- 農作業体験や支援団体とのイベント活動、棚田米の販売など、地域内外の協力により、棚田再生と地域活性化に向けて活動。
- モンテディオ山形を運営する山形県スポーツ振興21世紀協会や山辺町等と連携し、棚田での米づくりに着目した棚田再生を実施。

## 成果

- 棚田再生面積は、0.4ha（平成23年度）から2.6ha（令和2年度）まで拡大、会員数も101名に増加。
- モンテディオ山形と連携した雪中棚田サッカー大会、「棚田でピクニックコンサート」等の実施により交流人口の拡大に貢献。



雪中棚田サッカー大会

## 福島県喜多方市教育委員会



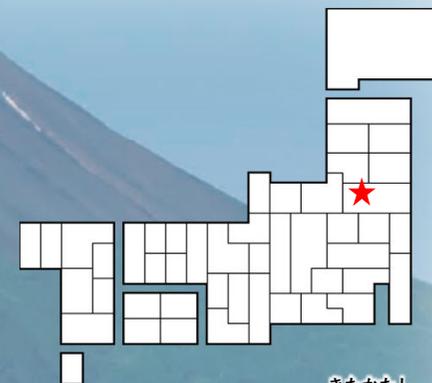
— 小学校農業科 いのちを育み、いのちをつなぐ —



黄金色に実った稲の刈り取り

コミュニティ部門

食育・教育



所在地：福島県 喜多方市



収穫祭で農業科支援員へ感謝の手紙と握手

### 概要

- 国の構造改革特区の認定を受け、市内全ての小学校が、年間を通し農業学習として「農業科」を実施。
- 小学校農業科副読本による学習だけでなく、稲、大豆やトマト等の多数の野菜を自ら栽培し、調理・加工から食することまで実践。

### 成果

- 種まき、栽培管理、収穫、調理、試食までの実習のほか、年間を通じたまとめとして「小学校農業科作文コンクール」を実施。
- 地域の農業者を「農業科支援員」として配置。子どもたちにはより深い農業体験につながり、農業者には活動の場や生きがいに。



力が必要な田押し車による除草

# 11

## 株式会社ワカヤマファーム

— 竹・竹林という資源を使いきる —



24haもの敷地に広がる圧巻の竹林



タケノコや栗の6次化製品を販売

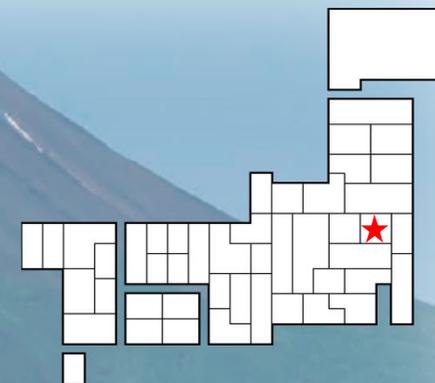


竹を自ら切り倒して竹工作の材料とする体験

ビジネス部門

6次産業化

景観保全



所在地：栃木県 宇都宮市

### 概要

- 宇都宮北部に24haの圃場を有し、タケノコ、竹、栗を栽培しつつ、その竹林を観光資源として一般開放。
- 竹林の美しさから、栃木県・宇都宮市のフィルムコミッションと連携し、撮影ロケ地としても利用。

### 成果

- 入場者数は、4,000人（平成28年度）から4万人（令和2年度）に増加。
- タケノコ等の農産物、6次化商品の売上は、270万円（平成28年度）から4,100万円（令和2年度）に増加。

# 12

## 株式会社いちごの里ファーム

— 農福連携の6次化観光農園で地域を豊かに！ —



いちご狩りの様子



### 概要

農福連携で働く従業員と「王さまいちごゼリー」

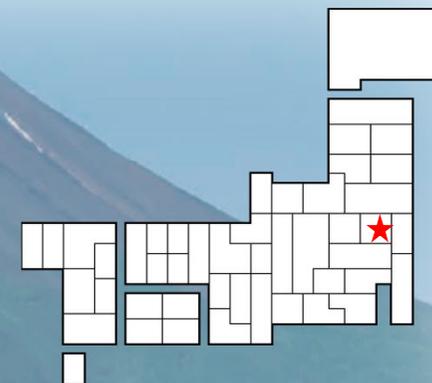


自社製いちごを使用した6次化商品

ビジネス部門

農福連携

6次産業化



おやまし

所在地：栃木県 小山市

- いちごの観光資源化と就労継続支援事業所の開設、農福連携による地域の活性化と地域社会への貢献
- 国内最大級の観光農園を展開する一方で、平成30年度にはJGAP認証を取得。いちごを使ったジャムやケーキ等の6次産業化も推進。
- 果物狩りやレストラン等の来客数は年間30万人近くに上り、売上は4.2億円(平成20年度)から8.8億円(令和3年度見込み)と2倍強に。
- 社会福祉法人めぶき会を設立し、58名の障がい者を雇用。コロナ禍でも1人のリストラもなく雇用の創出、地域活性化に貢献。

### 成果

## 東京大学むら塾



— 農業×地域おこしで、むらの未来を変える —



ワークショップの様子

コミュニティ部門

若者の活躍

荒廃農地対策



遊休農地での田植えの様子

### 概要

- 平成27年に東京大学の学生によって結成され、千葉県富津市で活動する谷田皿引農地水保全会との連携活動を実施。
- 遊休農地の活用等を通じて地域コミュニティの活性化に貢献。地域ブランディングによる6次化の実現。

### 成果

- 住民とのワークショップ、地域の子どもたちに勉強を教える「寺子屋」やむらおこしコンテストなど、地域との交流を実施。
- 遊休農地でコシヒカリを栽培し、ブランド米「てとて」として発信し、販売促進。



ふるさと納税イベントにて「てとて」をPR、販売

# 14 いちやじょう 一夜城ヨロイツカファーム・マルシェ部会

— みかん農家とパティシエの連携で地域活性化 —



一夜城ヨロイツカファームの全景



マルシェ（農産品直売所）の外観

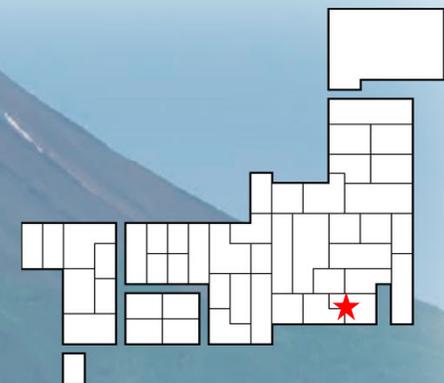


春・秋に実施する交流イベント

ビジネス部門

企業との連携

6次産業化



所在地：神奈川県 小田原市

## 概要

- 約7,000m<sup>2</sup>の荒廃農地をマルシェ部会員とパティシエ鎧塚俊彦氏が整備し「一夜城ヨロイツカファーム」と名付け平成23年に開業。
- 有名パティシエと連携して荒廃農地を再生し誘客拠点を運営、直売所を経営して会員の所得向上に寄与。

## 成果

- コロナにより来店客数が減少する中、客単価のアップを図ることで販売額の減少を食い止め、年間2,800万円程度の売上を確保。
- 新たな地域特産品としてオリーブの栽培にも取り組み、平成30年度にはオリーブオイル、新漬けの製品化・販売も開始。

さくさかぐら

# 15 SAKU酒蔵アグリツーリズム推進協議会



— 13の酒蔵がひしめく蔵人になれるまち —



蔵人として本格的な酒造りを体験する参加者

コミュニティ部門

農泊

伝統の承継



所在地：長野県 佐久市



築100年の蔵人の宿舎を宿泊施設にリフォームした「酒蔵ホテル」

概要

- 酒蔵に蔵人として宿泊し、日本酒造りを体験できる世界初の酒蔵ホテルとして、インバウンドを誘致。
- 空白地帯とされる軽井沢・長野間に位置する佐久の新たな冬のコンテンツとして、日本酒文化の神秘性、魅力を国内外に発信。

成果

- 令和元年度に立ち上げた取組ではあるが、蔵人体験人数は135人（令和2年度）から300人（令和3年度見込み）に増加。
- コロナによりインバウンドの受入はできていないが、国内在住の外国籍の顧客（約1割）も含め、顧客満足度は高い（100%）。



周辺飲食店で実施している着地型旅行商品

## 株式会社白銀カルチャー



— スマート農業で若者を受け入れ地域を活性化 —



自動給水栓とドローンで定型作業を省力化



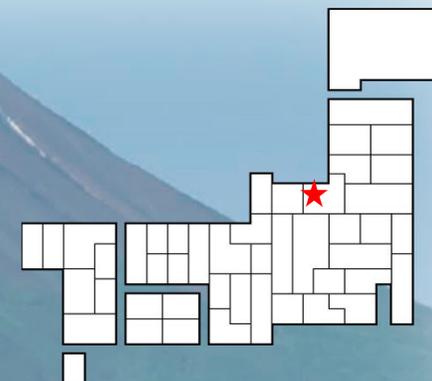
自動運転トラクターの作業見学会



自動選別機を導入し高品質な枝豆を出荷

ビジネス部門

スマート農業



所在地：新潟県 新潟市

### 概要

- スマート農業により水稻生産を効率化し高収益作物を導入、若者の雇用を促進、地域を活性化。
- ICT機器を積極的に導入し、効率化により生まれた余剰労働力を高収益な園芸作物等に振り向ける高収益型水田農業を実践。

### 成果

- 水稻の10a当たり労働時間は20.5時間（地域平均）から7.9時間（令和2年度）に約6割減少。枝豆、カリフラワー等の作付面積を増加。
- 水稻主体から多様な作物を導入することにより、売上高は1億2,500万円（平成28年度）から1億6,200万円（令和2年度）に着実に増加。

# 月影の郷運営委員会

— 地域と大学との連携で学校が蘇る懐かしさ —



廃校を再生した宿泊体験交流施設 月影の郷

コミュニティ部門

農村文化体験

若者の活躍



地元のお母さん方が指導する田舎料理

## 概要

- 「宿泊・体験・交流」を目的に、廃校施設に学校関係や会社等を広く受け入れ活動を実施。
- 建築系4大学が共同で廃校再生計画を提案。市から指定管理の許可を受け、田舎体験メニューの提供、都市住民との交流等を実施。

## 成果

- 廃校活用の知名度が上がり、口コミでのリピーターにより年々利用者が増加。令和元年度には年間7,000人超に。
- コロナにより宿泊者等は減少したが、3密対策を実施しながら、ドローン講習会や小学校の総合学習の受け入れ等を実施。



ドローン飛行講習会



— 「チーム柴垣」で、伝統の岩ガキ漁を再生！ —

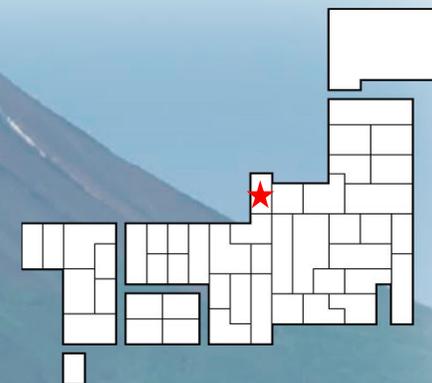


イベントで応援歌とダンスを披露

ビジネス部門

水産

伝統の承継



所在地：石川県 羽咋市

## 概要

- 伝統の<sup>あま</sup>海士漁再生を核に、応援隊の結成や海士漁の妨げとなるワカメの加工等を通じ地域の活力を創造。
- 地元のキャラクター、シンガーソングライター等からなる岩ガキの応援隊「チーム柴垣」を結成し、歌やダンスにより岩ガキのPRを実施。

## 成果

- 令和3年度には新たに3名の新人海士が誕生。ベテラン海士の指導を受けながら伝統漁業の継承者として期待。
- 令和2年度から、海士漁の妨げとなるワカメから、「柴垣天然板ワカメ」を商品開発。



新人海士の加入



板ワカメの加工を行う地域の女性たち



— ネットツールで田舎の牛乳屋が全国を目指す —



牛乳メーカー6社合同でのクラウドファンディング掲載ページ



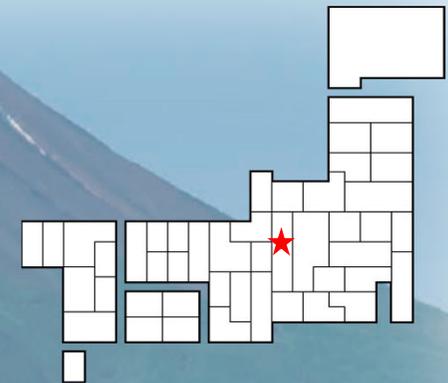
プロジェクトを行った経緯紹介パンナー



自社オンラインネットショップ

ビジネス部門

6次産業化



所在地：岐阜県 飛騨市

## 概要

- クラウドファンディングの活用によりEC強化からSNS発信による消費者密着型販売で経営改善。
- コロナにより学校給食や地元観光業向けの牛乳・乳製品の需要が激減した中で、スピーディーにEC事業を強化。

## 成果

- 緊急事態宣言の発令により牛乳の消費が激減する中で、クラウドファンディングの募集を開始、12日間で約500万円を集める。
- コロナの影響を受けEC事業を強化。自社オンラインショップの売上は296万円（平成28年）から2,100万円（令和3年度見込み）に増加。

# 20 安城農林高校エグプロ研修班with岡崎市

あんじょうのうりんこうこう

おかざきし



— SDGs健康卵で岡崎おうはんを世界へ発信 —



官学連携による岡崎おうはんの普及活動

コミュニティ部門

若者の活躍

6次産業化



所在地：愛知県 岡崎市



竹水鉄砲合戦協会と連携し竹林整備

## 概要

- 安城農林高校と岡崎市が連携協定を締結し、西三河の名産鶏「岡崎おうはん」の普及に向け、町おこしプロジェクトチームを結成。
- 環境保全活動（竹林整備）で廃棄された竹を炭に加工し、「岡崎おうはん」の飼料として活用しSDGsを実践。

## 成果

- 竹林整備により発生した竹炭を鶏の飼料とすることで卵の低脂質・低コレステロール化を実現するとともに、JGAPを取得。
- 地元洋菓子店と連携し、おうはんハニープリン、ハニーマドレーヌの2品を開発。



おうはんハニープリン、ハニーマドレーヌの商品化

# 21 一般社団法人三重県障がい者就農促進協議会



－ 見て 知って つながって ひろがれ！ 農福連携 －



施設外就労によるJA津安芸のキャベツの収穫



特別支援学校くろしお学園地域伝統野菜高菜の収穫



ファーマーズマーケットでのマルシェ開催

コミュニティ部門

農福連携



所在地：三重県 津市

## 概要

- 農業ジョブトレーナーを養成し、福祉事業所や農業経営体をサポートすることで、農福連携を推進。
- 県教育委員会・特別支援学校と連携し、県立特別支援学校9校全てが農業実習を実施。農業経営体を進路とする生徒を育成。

## 成果

- 障がい者就農人数は、540人（平成28年度）から650人（令和3年度）に増加。
- 農業経営者と就農を希望する障がい者・家族の双方に関わり、障がい者を支援・指導する「農業ジョブトレーナー」養成講座を開催し、令和2年度末でのべ396人を養成。

# 22 お茶の通販・京都おぶぶ茶苑合同会社

ちやえん



— DX化推進で地域力を高め、日本茶を世界へ —



オンライン茶摘みイベントにて集合写真



Online Tea Educationの様子

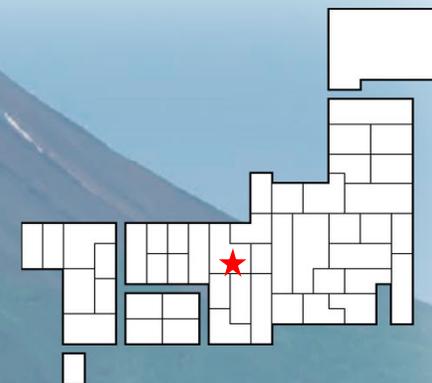


インバウンド茶畑ツアーにて茶栽培の説明

ビジネス部門

6次産業化

輸出



所在地：京都府 和束町  
わづかちょう

## 概要

- 宇治茶生産地にて、日本茶の通信販売・輸出、オンライン教育部門への参入を通じ、町内ビジネスのDX化推進に貢献。
- ネット販売や輸出のほか、年4回茶畑直送の茶葉が届く「茶畑オーナー制度」等の取組も実施。

## 成果

- 平成20年から輸出に取り組み、世界116ヶ国に茶葉を直送可能に。輸出額も900万円（平成27年度）から2,500万円（令和2年度）に増加。
- 令和3年度から世界中から日本茶を学ぶことができる「Online Tea Education」を開始するなど、オンライン教育部門にも参入。

# 23

## 大阪府立農芸高等学校



— 地域、学校、社会をつなぐ酪農教育ファーム！持続可能な大阪酪農を目指して —

コミュニティ部門

食育・教育



所在地：大阪府 堺市



指定団体と協力したオンライン酪農体験



小中学校の酪農体験受け入れ

### 概要

- 府内唯一の酪農教育ファーム認証牧場として、消費者の大阪酪農に対する理解向上と牛乳消費の拡大を目標に活動を開始。
- 近隣の方々や小中学校を対象に、大阪酪農の現状と地域産牛乳の必要性について発信。

### 成果

- 酪農体験の参加者人数は、64人（平成27年度）から165人（令和2年度）に増加。コロナの影響によりオンラインでも実施。
- 関係機関と連携し、食博覧会大阪での食育セミナーや地域マルシェなど様々なイベントを通じ、地域酪農や牛乳・乳製品をPR。



食育セミナーの開催（食博覧会大阪2017）

## 空中の村

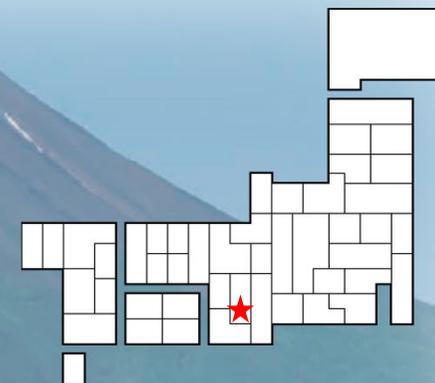


— 山奥で過ごす、大人の遊び場 —

ビジネス部門

森林・林業

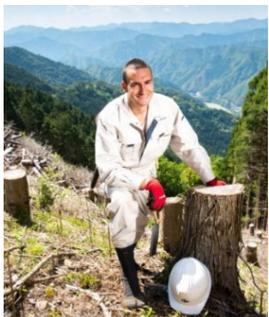
6次産業化



とつかわむら  
所在地：奈良県 十津川村



空中の村「ぐねぐね橋」



林業従事中のフェレリ・ジョラン代表

### 概要

- 森林を活用したアウトドア施設「空中の村」の管理、運営を行い、村の新たなツーリズムの拠点施設として、誘客を促進。
- フランス国籍の地域おこし協力隊員が、地域の森林を活かし、アート×アスレチック×憩いの場を融合させたアウトドア施設を整備。

### 成果

- 来園者数は373人（令和元年度）から5,900人（令和3年度見込み）へと増加。
- 施設内に十津川の木材をふんだんに使用し、園内で提供される弁当には地元の食材を提供するなど、村内の資源を有効活用。



空中の村 案内図

## 株式会社日向屋

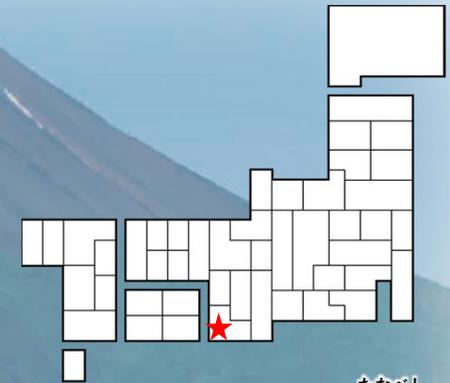


— 農業と鳥獣害を地域の宝に —

コミュニティ部門

荒廃農地対策

鳥獣害対策



所在地：和歌山県 田辺市

たなべし

日向屋スタッフ

概要

- 鳥獣害、担い手不足、荒廃農地等の地域課題を解決するため、平成29年に若手農家が鳥獣捕獲チームを結成。
- 農作業受託・農産加工品の販売を柱とした、鳥獣害対策と荒廃農地解消を組み合わせた地域活性化事業を実施。

成果

- 梅の剪定や草刈り、伐採等の農作業受託件数は、4件（平成29年度）から20件（令和2年度）に増加し、荒廃農地の再生に貢献。
- 有害駆除捕獲実績は140頭（平成29年度）から78頭（令和2年度）まで減少しており、農産物被害も減少。

農作業受託作業

再生された荒廃農地

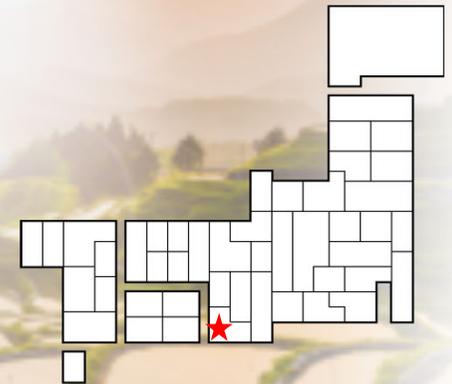


紫宝梅「ミスなでしこ」と那須氏

個人部門

ブランド化

輸出



所在地：和歌山県 田辺市 たなべし



香港百貨店での青果販売

### 概要

- 平成17年に父親が品種開発の末に生み出した果皮が紫色の大梅品種を自らが旗振り役となってブランド化、PR活動を実施。
- 「ミスなでしこ」として商標登録を取得するなどのブランド化、香港への輸出のほか、幹線道路沿いに看板設置等の宣伝も実施。

### 成果

- 様々なPR活動や販路拡大により、「ミスなでしこ」の出荷量は、1,754kg（平成29年度）から3,325kg（令和3年度見込み）に増加。
- 香港への輸出量は、60kg（令和元年度）から760kg（令和3年度見込み）へ増加。



千両箱風 個人通販用段ボール



— 農業を通じて皆様を繋ぐ架け橋になりたい！！ —



2021年国和産業株式会社コラボ パクチャーゼリー完成



2021年タクシー乗務員へ農業指導

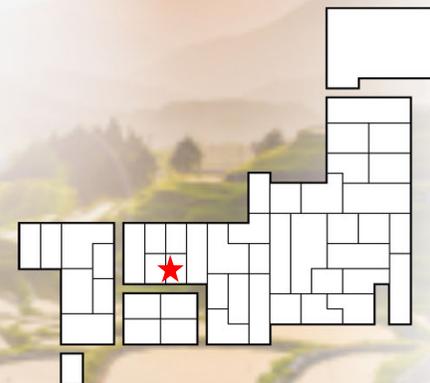


農場にてパクチャー奉納祭前のお祓い

個人部門

ブランド化

企業との連携



おかやまし  
所在地：岡山県 岡山市

## 概要

- 地元特産の黄ニラと岡山パクチャー大使として、メディアや祭への参加により産地をPRするとともに、学校、福祉、企業とも連携。
- 岡山交通（株）とコラボし、「黄ニラタクシー」を誕生。タクシー乗務員への農業指導も実施。

## 成果

- メディア等でのPRにより、黄ニラと岡山パクチャーの売上高は、1,380万円（平成28年度）から2,050万円（令和2年度）に増加。
- 「黄ニラタクシー」のほか、地元企業とコラボし「パクチャーゼリー」を商品化するなど、企業連携も強化。

# くさまだい 28 草間台エコミュージアム推進協議会



－ 発見草間台 発信草間台 進化草間台 －

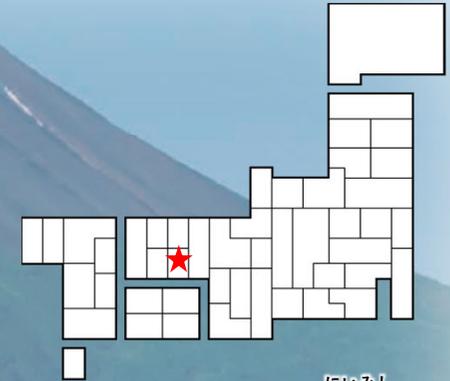


小学生の洞窟体験

コミュニティ部門

環境保全

荒廃農地対策



所在地：岡山県 新見市



新しく作成したガイドマップ

## 概要

- 草間台地の自然・産業・歴史文化等の宝物を発見し、それらを護るとともに発信し、地域振興に貢献。
- 地域を自然、産業、歴史文化等の宝物にあふれる「エコミュージアム」（屋根のない博物館）と捉え、里山の維持保全等を実施。

## 成果

- 荒廃農地解消のためのソバ栽培のほか、里山の荒廃防止のためのきのこと原木栽培を実施。
- エコツアー、そば打ち体験等による都市住民との交流のほか、コロナ後を見据えたガイド養成講座やガイドマップ作成を実施。



きのこと栽培講習会

## 株式会社敷信村農吉

— かけがえのないもの。こと。 —

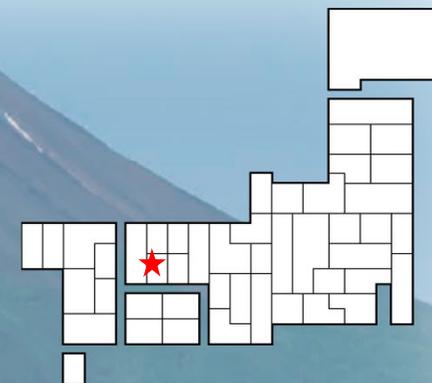


地元生乳100%の手作りチーズは国内外で高評価

ビジネス部門

地産地消

地域づくり



所在地：広島県 庄原市

## 概要

- 里山の自然を活かした保育所の運営を軸に、農産物やチーズの製造・販売等の地域密着型の事業を展開。
- 保育所では、園庭での野菜栽培、自社農園の農産物を使った給食の提供など、「身土不二」を教育。

## 成果

- 野菜やチーズ等の売上は、コロナの影響がある中で、約7,400万円（平成30年度）から約8,000万円（令和2年度）に増加。
- 地元牧場の生乳を100%使用した高品質なナチュラルチーズは、国内・国際のチーズコンクールで金賞を受賞。



保育所では、田んぼ・園庭の畑で農作物を育てる



野菜集荷場は地域の農家の憩いの場にも

# 株式会社63Dnet



— つながる、つたわる、ものづくり、人づくり —

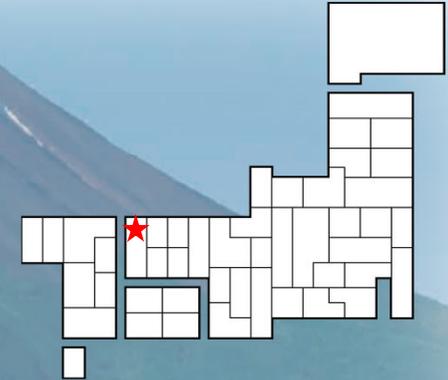


地元産マルシェ「LaLaフラン」

ビジネス部門

6次産業化

地産地消



所在地：山口県 ながとし 長門市

一次産業のアイデアをカタチにするみんなの加工場。  
ながと市は、地域産業の発展と一次産業者の所得向上、次世代の担い手育成と雇用創出を目的に開設された6次産業化支援施設。専門家のアドバイスにもとづいて各種製造許可施設等を活用していただくことで、一次産業者の商品開発費用負担を軽減するとともに、魅力ある地域産品づくりを応援します。



6次産業化支援施設「ながとラボ」



海辺のパン屋「ララベーカリー」

## 概要

- 地域食材を使った、コロナの状況でも強い商品づくりと幅広い販売チャンネルの確立により、地域事業者の収入確保に貢献。
- 農業生産者が6次産業化を行うために必要な施設や専門知識・ノウハウを補完し6次産業化を支援する「ながとラボ」を運営。

## 成果

- 通信販売の促進等により、小売事業の売上高は約1,400万円（平成28年度）から約4,200万円（令和2年度）に増加。
- 地域食材専門の店舗「LaLaフラン」、道の駅内に「ララベーカリー」、地元食材を使った非常食の販売など、販路を拡大。

## 黒川 真太郎

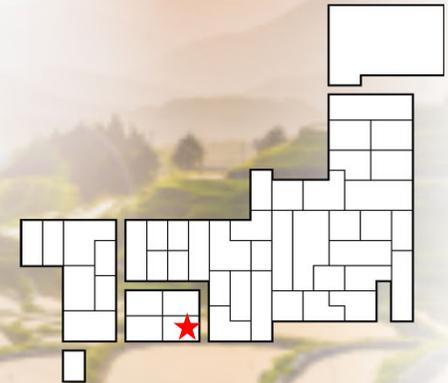


— 田舎の宝を活かした小さな6次産業 —

個人部門

6次産業化

地産地消



所在地：徳島県 阿南市 あなんし



毎月1回JRT（四国放送）ラジオで活動等の情報発信



過疎地の空き家を有効利用したパン屋



横浜の子どもたちが休校中の学校で合宿・交流活動

### 概要

- 農業・食品加工・販売の3本柱の小さな6次産業を実践するとともに、子育て環境の充実として学童保育を立ち上げ運営。
- 環境保全型農業での農産物づくりを実践。お米の消費拡大のため、パンや菓子等の食品加工、全国の消費者へのネット販売も実施。

### 成果

- 平成29年10月にパン店舗を開店。売上は初年度の109万円から令和2年度には445万円に増加。
- 10種類の野菜セット、ブランド米、パンセット等を全国発送しており、現在全国で約240世帯が登録中。

かみやま  
 神山しずくプロジェクト

— 林業×デザインで持続可能な豊かな田舎へ！ —



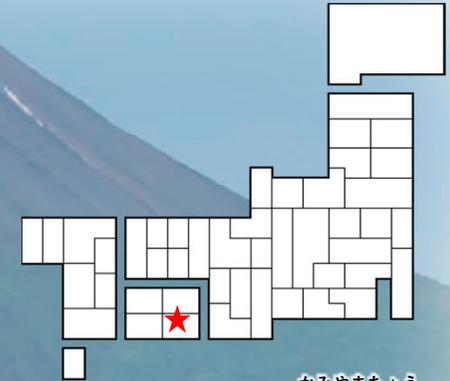
スギにしかできない赤白の杣目が美しい木製品



コミュニティ部門

森林・林業

移住・定住



所在地：徳島県 神山町  
かみやまちょう

概要

- 山林課題の啓発活動、町産材を活用した商品開発・販売など、地元産業振興により地域活性化に貢献。
- スギの弱点とされる赤白の木目を活かしたデザインの木製品を開発。地域おこし協力隊制度を活用した職人育成事業も実施。

成果

- しずくブランドの木製品やアロマ商品の売上は400万円（平成28年度）から1,300万円（令和2年度）に増加。
- 会員関連団体の雇用者9名全員が町内に定住。地域おこし協力隊を受け入れた事業も展開しており、移住促進に貢献。



薪割りや木工体験など様々な啓発イベントを開催



町内の遊休施設を活用した自社工場の開設

# 「高松盆栽の郷」推進協議会

— 高松盆栽を世界へ！！盆栽エクスペリエンス —

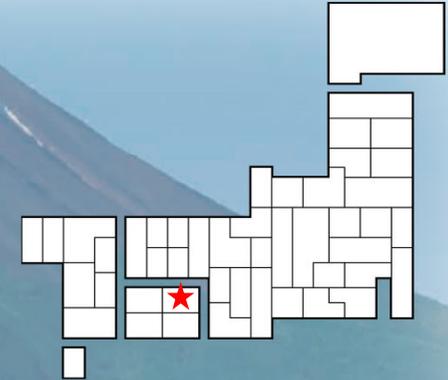


高松盆栽オークション 盆栽紹介ライブ配信

ビジネス部門

伝統の承継

輸出



所在地：香川県 高松市



4ヶ国語に対応した「高松盆栽」のウェブサイト

## 概要

- 国内外に向けた高松盆栽の情報発信と担い手の育成によるJA香川県「高松盆栽の郷」の発展に向けた取組。
- 4ヶ国語対応のウェブサイト等により国内外に高松盆栽の紹介・販売を実施。令和2年度はオンラインでのオークション等を実施。

## 成果

- ウェブサイトには世界50ヶ国以上からアクセスがあり、令和2年度の盆栽の輸出本数は約12,000本に増加。
- 拠点施設「高松盆栽の郷」の令和2年度の年間来場者数は約9,000人あったほか、盆栽学校やBONSAI技術研修も実施し。



小学生も参加した「高松盆栽学校」

# 34 愛媛県立三崎高等学校「せんたんプロジェクト」



— 四国最西端から最先端の活動を！ —

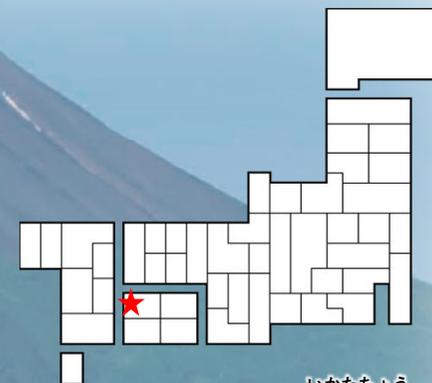


みさこうCafe

コミュニティ部門

企業との連携

移住・定住



いかたちょう  
所在地：愛媛県 伊方町

## 概要

- 高校生が主体となる地域の魅力開発及び発信により、伊方町の関係人口の増加と移住・定住者数の確保に貢献。
- 全校生徒をPR活動等、カフェ、商品開発、ツアー、アート、防災の6つのグループに分け探求活動を実施。

## 成果

- 本プロジェクトにより、県外からの入学志願者数が増加し、地元への就職率も25%（平成28年度）から40%（令和2年度）に増加。
- 地域の特産物を活用した「みさこうカフェ」を展開しているほか、開発した「だいだい」マーマレードが金賞を受賞。



第3回ダルメイン世界マーマレード&フェスティバルで金賞を受賞



オンラインイベントの開催

よしのぶえいのうくみあい  
吉延宮農組合

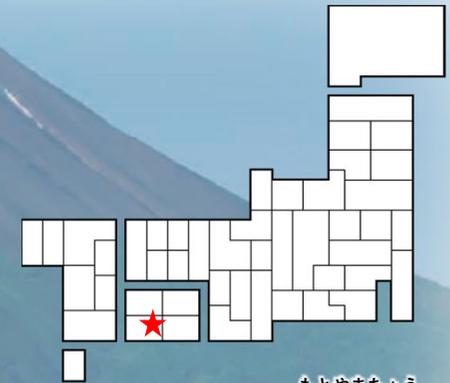


— 吉延の自然・棚田の原風景を将来へ —

コミュニティ部門

環境保全

鳥獣害対策



所在地：高知県 本山町  
もとやまちょう



吉延集落の棚田



鳥獣被害防止柵設置の様子



稲刈り体験交流の様子

概要

- 地域の持続可能な営農体制づくりに加え、棚田散策ツアーの実施など地域活性化を目指した幅広い活動を実施。
- 集落一体となって防護柵の設置等の獣害対策を行っているほか、田んぼアートや棚田コンサート等の都市との交流事業も実施。

成果

- イノシシの水稲被害を防止するため、平成25年度には3.5km、令和元年度には1.2kmの獣害防止柵を設置。
- 機械の共同利用や農作業の受託により、持続可能な営農と棚田等の原風景の保全に貢献。

# 36 みやま市環境衛生課循環型社会推進係



— 循環型社会を体現する地域憩いの施設 —

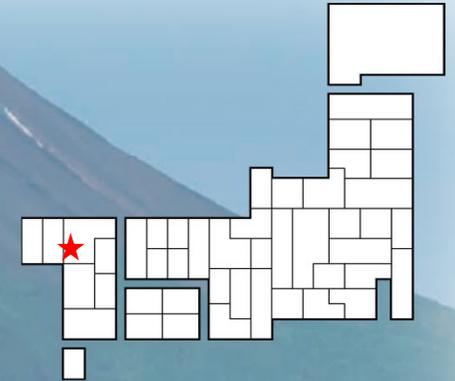


オープニングイベント ルフランマルシェ

ビジネス部門

環境保全

地産地消



所在地：福岡県 みやま市



日替わりカフェの様子

## 概要

- 生ゴミから天然肥料の液肥をつくり、市内の農家に利用してもらいつつ、市民にも体感してもらうため、廃校に「ルフラン」をオープン。
- 廃校になった小学校を改装し、食品加工室、カフェ、直売所（無人販売）、シェアオフィスを運営。

## 成果

- 食品加工室、日替わりカフェを営業。カフェ利用者は1,536人（令和元年度）から2,500人（令和3年度見込み）に増加。
- 廃校になった小学校の3教室をテレワークオフィスに改装し、大学の授業、リモートワーク、ウェブ会議等に利用。



食品開発室で開発・販売されたドレッシング

さがけんりついまりじつぎょうこうとうがっこう

# 37 佐賀県立伊万里実業高等学校フードプロジェクト部



— 食で伊万里を元気に！～伊万里版SDGs～ —



フードドライブ カフェ・マルシェ

コミュニティ部門

若者の活躍

地産地消



伊万里焼協同組合と連携した伊万里焼カフェ

## 概要

- 規格外地域農産物を活用した商品開発・カフェの運営。コロナの影響によりテイクアウト形式・移動型マルシェも実施。
- 食品ロスを防止するため、家庭で眠っている余剰食材を回収し子ども食堂や福祉施設等に届ける「フードドライブ」活動も実施。

## 成果

- 規格外品を活用した商品については、2種類（平成28年度）から、15種類（令和3年度見込み）に増加。
- まちなかカフェ・マルシェにフードドライブを併設し、100点以上の食材を集め、子育て支援センター等に提供。



商店街の空き店舗を活用したまちなかカフェ

## 山原女性農業者の会



— 残したい 伝えたい やんばる農業と食とくらし —

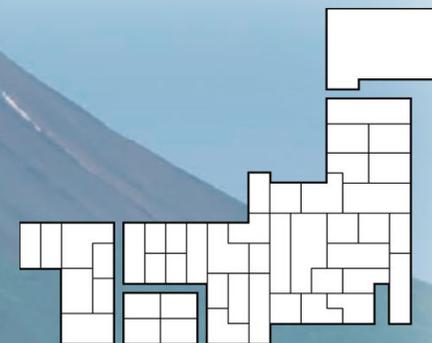


若手会員との加工講習会

コミュニティ部門

6次産業化

地産地消



所在地：沖縄県 名護市



若手女性農業者とともに他地区へ視察

### 概要

- 沖縄本島北部地区の女性農業者等で構成され、若手農業者への世代交代も図りつつ、農業経営の安定や新規就農者の育成等を実施。
- 島ヤサイ等の伝統食材・地域食や農産物活用法の伝承・継承活動、農泊関連活動も実施。

### 成果

- 新規就農者支援数については、年間9人（平成28年度）から34人（令和2年度）に増加。
- 島ヤサイ等の栽培方法やレシピをまとめた冊子や、地域の味や暮らしをまとめたガイドブックを発行。



料理レシピ本・体験ミニガイド本